



2016年度 杏林大学 一般入学試験

I

A

- 問1 ア. 2 イ. 2 ウ. 4  
問2 ④, ⑧  
問3 ①  
問4 ①, ④, ⑤  
問5 (1) 53 (2) 73 (3) 11 (4) 01  
問6 ②, ④, ⑤

B

- 問7 タ. ② チ. ② ツ. ①  
問8 テ. ③ ト. ④

II

- 問1 ア. ① イ. ④ ウ. ② エ. ② オ. ② カ. ③  
問2 ②, ③  
問3 ③  
問4 ③

III

A

- 問1 ③, ⑤  
問2 ③, ⑥  
問3 ①, ⑤, ⑥

B

- 問4 ①  
問5 ①  
問6 ③  
問7 ④



## 2016年度 杏林大学 一般入学試験

### 【 講 評 】

- ・2015年度から大問が1つ減り、3題であった。昨年度と比べる大幅に易化して、一次合格ラインには8割は必要である。
- ・今年度は出題はなかったが、例年は実験考察問題が出題される。合否を分けるものになるので十分な対策をしておきたい。

I 呼吸	難易度：並
Aは呼吸、Bはアセチルコリンに関する標準的な問題である。どの問題も基本的なものが多く、完答しなければならない。	
II DNA複製	難易度：並
DNA複製に関する標準的な問題である。差がつくのは問3と問4であり、それ以外でのミスは避けたい。問3の複製開始点の計算は、複製が両方向へ進むことに注意する。問4は図を丁寧に書いて考えればよい。	
III ホルモン	難易度：やや易
Aはホルモンに関する基本的な問題である。問3の体温の調節ではグルカゴンを選択しないこと。Bは性周期の問題で、一瞬戸惑ったと思うが問題自体は難しくはない。この大問は完答する必要がある。	

**最終合格へのラストスパート!!!!!!**

# 医学部後期入試対策講座

埼玉医科大・昭和大・近畿大・藤田保衛大・大阪医科大・関西医科大 申し込み受付中

イシャ ニナロウ

お問い合わせは ☎0120-148-276